



帯広西ロータリークラブ

第2033回例会

会報

2014.2.27



■RI第2500地区テーマ■

「讚えよう地域を!クラブを!会員(自分も)を!
ロータリーとの出会いに感謝!



■クラブ・テーマ■

「ロータリークラブに出席し、ロータリーを楽しもう」
(Attend at the Rotary Club, and let's enjoy a rotary)

ゲスト紹介

RI2500地区 2012-13年度ガバナー 櫻田 正弘 様
2012-13年度地区副幹事 山本 貴一 様

会長報告

齊藤会長代理 石原英樹副会長

みなさん、こんにちは。本日、齊藤会長が不在のため、私が代理を務めさせていただきます。

今日は櫻田パストガバナーに『私のロータリー人生』と題し、卓話をさせていただきます。大変楽しみにしておりますのでよろしくお願いいたします。



さて、2月は「世界理解月間」「ロータリー創立記念日(23日)」が行われる月となっております。「世界理解月間」の取り組みとして、過日2月12日に7クラブ合同例会にて、大和教育研究所の小田島所長をお迎えして、講演が行われました。大変有意義な公演だったとお聞きしておりますが、私は子供の結婚式で不在でしたので、後程、会報にて確認してみたいと思っております。

また、「創立記念日」では、RIは1905年2月23日、当クラブは1972年2月24日ということで、当クラブでは前回例会時に会友の方々をお招きして43年目の創立記念例会を開催しました。その中で、田本会友から設立当時のお話を伺うことができ、大変楽しい例会でした。

今月はあと2日を残すばかりですので、来月の話を少しでも触れておきたいと思っております。3月は「識字率向上月間」です。日本の識字率は99%以上で世界トップクラスを誇っておりますが、その上、漢字・

ひらがな・カタカナ・ローマ字等、数種類の文字を読み書きできます。それに比べて欧米ではアルファベット、中国では漢字といったように限定的で、アフリカ西海岸地区には20~30%台の国が集中しております。

ロータリー財団では未来の夢計画として、グローバル補助金の6つの重点分野の一つ「基本的教育と識字率向上」に協力しております。皆様の年会費から財団へ寄付をいただいておりますが、さらに多くの寄付をいただければ幸いです。

最後に、本日沖縄ツアーに出発される会員がおられますが、気を付けて楽しんでください。

以上、会長代理報告といたします。ありがとうございました。

会務報告

奥田頼昌幹事

①帯広東RC、移動例会開催のご案内
~大平原クロスカントリー

スキー大会運営支援~

日 時 3月2日(日)午前9時

場 所 帯広岩内仙峡

※尚、3月4日(火)の繰上げ例会と致します。

②帯広東RC、夜間例会開催のご案内

日 時 3月11日(火)午後6時30分

場 所 帯広ワシントンホテル

③帯広RC、夜間例会(創立記念)開催のご案内

日 時 3月12日(水)午後6時

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

④帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日 時 3月20日(木)午後6時30分



ニコニコ 2月27日 15,000円
献金 累計 350,000円 (2月27日現在)

2014年 2月 世界理解月間



会 長 齊藤 憲生 副会長 佐藤 聡 会場監督理事 横田 幸宏 発行：広報委員会
幹 事 奥田 頼昌 副会長 石原 英樹 プログラム委員理事 太田 豊 委員長 北川 勝啓 (副)森 房明



例会日/木曜日 12時30分~13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

場 所 北海道ホテル

⑤帯広北RC、3月21日(金)の例会は、祝日のため
休会と致します。

帯広RC、3月26日(水)の例会は、休会と致します。

⑥第6分区IM(都市連合会)開催のご案内

日 時 3月29日(土)

～タイムスケジュール～

受付登録 13:30～14:00

開会式 14:00～14:30

特別講演 14:40～15:40

<講師:田中雅美様>

基調講演 15:50～16:40

<講師:葎本正美ガバナー>

閉会式 16:40～17:10

懇親会 17:30～19:00

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

※尚、帯広東RCは、3月25日(火)の繰下げ例会と致
します。

帯広西RCは、3月27日(木)の繰下げ例会と致します。

帯広北RCは、3月28日(金)の繰下げ例会と致します。

帯広南RCは、3月31日(月)の繰上げ例会と致します。

帯広RCは、4月2日(水)の繰上げ例会と致します。

ニコニコ献金

披露 米田慶司会員

柴田 和明会員 櫻田パストガバナー
のご来訪に感謝申し
上げます。

川田 章博会員 櫻田パストガバナー、
山本前地区副幹事、当クラブへ
のご来訪ありがとうございました。

石原英樹副会長 本日会長代理をさせていただきます。
よろしく願いいたします。



櫻田パストガバナー

皆さんこんにちは。只今、過
分なるご紹介いただきました櫻
田でございます。

先ほど、川田委員長から公式
訪問に行って、どこのクラブが一番印象深かったで
すか?と聞かれて、はたと困って、こちらのクラブ
ですとお答えしました。その理由の一つは、貴クラブ
が訪ねようロータリーの事業を行って、訪問先で
バナー交換をしているとお聞きしてから、訪問した
クラブの半数位にこのお話を披露してまいりました。
そのことを含めて印象深かったということで、ご容赦
を賜りたいと思います。

私がガバナーをしておりました当時、66か所の公

茨木 雅敏会員 先週の西ロータリークラブ創立記
念での麻雀大会で、運よく優勝す
ることができました。助けていた
だいた方々に感謝いたします。

佐々木嘉晃会員 18日、娘が男の子を出産しまし
た。おじいちゃんになりました。

工藤 正宏会員 一人娘が「青山学院大学文学部」に
合格しました。“滝川クリステル”
の後輩になりウ・レ・シ・イ半面
寂しいです。

◆プログラム 川田章博 長期計画特別委員長

みなさんこんにちは。石原副会長の
挨拶があまりにも素晴らしかったの
で、なにか緊張してしまいますが、皆
さんよろしく願いいたします。



私が会長の時に櫻田ガバナーの年度でございま
した。当クラブの公式訪問の後に富良野の公式訪問が
あったのですが、その時、私の勘違いにより私がい
つもより長くしゃべってしまったために、櫻田ガバ
ナーのお話が短い時間となってしまったというハプ
ニングがあり、痛恨の極みとなってしまいました。
そこで今回、山本前地区副幹事に何とか櫻田パスト
ガバナーをお連れいただけないかとお願いして、来
ていただいたという経緯であります。

私のミスで前回お聞きできなかった分を今回取り
戻していただきたくお願いしたところ、快諾をいた
だきましたので、「私のロータリー人生」というテー
マでロータリーの真髓を存分に語っていただけると
思い大変楽しみにしております。よろしく願いし
ます。

式訪問すべてに山本地区副幹事が同行していただき
ました。ですので、私は大変恵まれたガバナーだと
思っております。地区大会までにすべて回ったので
当時は大変でしたが、それがとてもよかったと思っ
ております。訪問したクラブの会長さん、幹事さん
と地区大会で再開した時、とても親近感がわいてよ
かったなと思っています。今年の葎本ガバナーも地
区大会までにすべて回ったとのことでしたので、こ
れがこの地区の良い伝統として根付いてくれればと
考えております。

私は公式訪問した時、自己紹介する際に、昭和11
(1936)年2月26日生まれでありますので、226事件
の話をしてします。大変な大騒動で、軍事クーデターが
起き、その時の大蔵大臣高橋是清と陸軍教育総監の
渡辺錠太郎が暗殺されましたが、天皇陛下の命令で

鎮圧されたと聞いております。今日は渡辺錠太郎の娘さんが書いた本を後程紹介しようと思っております。私が生まれた日に226事件が起こったということは、何か運命的な定めを感じており、高橋是清の書いた本などを読んで勉強すると当時の日本は大変な時代だったんだなあと思っているところでございます。

私のロータリー歴は入会が1977年で41歳のときでありまして、JCを卒業してまもなくの頃でした。実は父がロータリーを退会して、そののちJCの先輩にご推薦いただき入会しました。その後、1992年にクラブ幹事、1998年に会長、2007年に地区ライラ委員長、2009年にクラブの米山委員長をやりました。この米山委員長の時にカウンセラーをやりまして、以後、その経験が私のロータリー人生に大きな影響を与えたと思っております。それが機縁で台湾のロータリーとの交流の場が開けましたし、台湾に何回か訪問することも出来ました。

2010年にはガバナーノミニとして韓国の3590地区やタイの3330地区の地区大会に参加でき、大変貴重な経験をさせていただきました。国際大会では、アメリカのニューオーリンズ、翌年のポルトガルのリスボンであった国際大会に参加し、視野を広め友人が増えたことは大変貴重な機会でありました。皆さんもぜひ国際大会に機会があれば、参加してみてください。この国際大会の企画を中心になって立ててくれたのが山本地区副幹事でありまして、今年のシドニーには今のところ2500地区で43名が行くことになっており、個人で参加される方も含めると50名以上になるものと思われまます。去年リスボンでは2500地区ナイトを企画しまして、釧路の清水パストガバナー、葎本ガバナーに参加してもらいました。今まではなかったことですが、今後継続していただきたいものと考えております。今年のシドニーでも2500地区ナイトを企画しており今からでも登録できますので、ぜひご希望の方は申し込みください。

私、ガバナーが終わってほっとしていたところ、全くのハプニングでアクティブガバナーを務めなければならなくなりました。アクティブガバナーという言葉さえ知らなかったのですが、皆さんご承知の通り昨年の釧路の地区大会でお引き受けすることとなりました。改めて調べてみたところ「アクティブガバナーはガバナー職に空席が生じた場合、国際大会またはRI理事会が新ガバナーを選ぶまで、RI会長からガバナーを代行するよう任命された人」そして「ガバナーがその職を一時的に果たせない時期にその空席を補充するために任命される場合もある」ということで、後者の例により急遽アクティブガバナーを務めることとなりました。実はこれの裏を白状しますと、前の年に隣の2510地区の地区大会の際、毎年お

互いの地区の地区大会を行き来している関係もあり、伺った際に本会議の途中で細川ガバナーがステージ上で倒れられ、救急車を呼び病院に運ばれました。

その後、諮問委員が集まりこのガバナー職を誰がやるかということになり、RI会長代理のご指導もいただきながら、直前ガバナーがやるということが決まりました。その時、直前ガバナーは小樽の方でしたが、その後、ガバナーの職をこなされた姿を目の当たりに見ておりましたので、このような時は直前ガバナーが代行するという慣例になっていることを理解しておりました。ですので、去年、葎本ガバナーが大会の2日前に急遽入院ということになったわけですが、ガバナー代理の連絡をいただいた際には釧路の大会事務局の為にも2つ返事でお受けすることをお返事しました。あらかじめ経験して覚悟はしておりましたので、昨年の釧路の地区大会を無事終了した後、2510地区の江別での大会にも2500地区を代表して参加しました。

こういうことは大変偶然のことではありますが、腹を決めるときは決めて取り組んだということで私に大変貴重なチャンスをくれたことを感謝しております。私が葎本ガバナーの代理を務められたかどうかは自分自身ではわかりませんが、皆さんからお褒めの言葉をいただいたことで、この場でご紹介させていただきます。

葎本さんと私はタイの3330地区の国際大会に2回一緒に行った際に彼の人柄に触れることとなり、釧路の地区大会の懇親会では苦手な踊りを私が率先して踊りました。それはきっと葎本さんがその場にいれば率先して踊りだすだろうなあという思いからであり、それがその場の雰囲気盛り上げる結果となったと思っております。タイの地区大会では盛り上がってくると必ず踊りだす大会でしたので、私どもの地区大会では踊ることはまずありませんが、葎本さんなら踊りだすと思ひ、率先して私が踊ったわけです。

ロータリーの友の2月号に「平和」という題のスピーチが冒頭に載っています。NPO法人「ルワンダの教育を考える会」の理事長、カンベンガ・マリールイズさんのスピーチです。日本では平和について非常に安易に考えているかもしれませんが、ルワンダあたりは非常に識字率が低く、そのことが書いてあります。「安心して眠れること。それが本当の平和である」日本では、ごく当たり前に安心して寝られることが、ルワンダでの本当の平和になっているという現実があります。ルワンダでは1990年あたりから武力衝突が起きていて、国内で内戦が広がっており、国民の多くが難民キャンプの生活をしている国であります。我々はこういったことを経験したことがないわけですが、この原因を探ってみるとルワンダでは文字を

読めない若者、明日の生活をどうしたらよいかという見通しを持っていない若者、着るものを買えない若者が多数存在し、そしてそれを利用する政治家が存在するのです。

日本では、文字を読んだり明日の生活の見通しを持つことは普通のことではありますが、ルワンダでは普通のことではありません。文字を読めない若者に銃を与え、それを打つことに政治家が利用したのです。つまり戦争に駆り立てたということです。平和に生きていれば、まだ立ち上がることはできる。そして最終的には学校を作って識字率を上げることができます。ということで、ルワンダに学校を建てることを目的として活動しているNPO法人の理事長が書いているものであります。

私はロータリーの国際奉仕の中で、このような抽象的ではない具体的な事業に取り組むことが大変重要なことだと思っております。ロータリー財団では未来の夢計画として、グローバル補助金の6つの重点分野の一つ「基本的教育と識字率向上」をうたっておりますが、私は国民の民生を上げることが一番の基本だと思うわけです。十分言い尽くせない点もありましたが、皆さんもぜひロータリーの友2月号の「平和」という題のスピーチを読んでいただければと思います。

それからもう一つ、こちらにも「抜粋のつづり」という本が届いていると思っておりますが、この中に職業奉仕について記事が載っております。私は公式訪問の時に職業奉仕とは何かということについて申しましたが、職業奉仕はボケーションル（神様から授かった）サービスであります。これはロータリーの発祥がキリスト教にかかわっているのです、そこから来ているものだと思います。

73号が最新ですが、中に「働くってどういうこと？」という題で載っています。宮崎中央新聞の水谷編集長さんが書いておりますが、今の若者の就職状況について、せっかく職についても2、3年で辞めてしまうものが多く、その理由として仕事が忙しすぎて休みがない、職場の人間関係が嫌といったことで職場を辞めてしまい、アルバイトに就くといった例が

増えているようです。生きるために、がむしゃらに働かなければならなかった我々や父母の世代が働くことによって豊かな世界を手に入れ、そして家族を守ることを信じてきた価値観と大きく異なる時代となってしまうと感じます。

その中で4つのことを言っています。1・食べるために働いている＝ライスワーク、その次の段階が2・仕事が好きになる＝ライクワークになり、そしてそれを続けていくと3・その仕事に人生をかけるようになる＝ライフワーク、それを極めていくと4・多くの人に喜びを与え、社会の人に光を与えられるようになる＝ライトワーク。つまり、先を照らしていく、最終的には世の中を明るくしていかなければならないということでライトワークだと。このように仕事を4段階に分けて継続的に取り組むことが一番大切だということをお願いしたいと思います。神から与えられた天職に取り組み、最終的にライトワークとなるよう意識を強めていくことが、ロータリーの職業奉仕であると思うところであります。

ボケーションルサービスということで、サービスを日本語で奉仕と訳しておりますが、本当に奉仕ということで良いのか？という疑問を私は持っており、他に適当な言葉がないので、やむを得ないのかなとも思っております。キリスト教徒が日曜礼拝することをサンディーサービスと言います。日曜礼拝で徳を高め、神に感謝し、地域に感謝して心を清めていくといえますか。これをサンディーサービスと言います。このサービスは、奉仕という言葉ではないと思います。自分の持っている力を世の中に尽くすという意味であり、職業奉仕の奉仕もそういう意味ではないかと思っております。

正岡子規の「病床六尺」という話も用意しておりましたが、時間となりましたのでこれにて終了させていただきます。今日お話ししたようなことは、身近な本にたくさんいいことが書かれております。最近、私は昔読んだ本を読み返しておりますが、若い時読んだ時と違った味わいがあり、この年になって読んだ時の解釈はまた違ったものがあり、楽しいものでございます。ご清聴ありがとうございました。

謝辞 齊藤会長代理 石原英樹副会長

櫻田パストガバナーにおかれましては、大変貴重なお話ありがとうございました。また御随行いただきました山本様、本当にありがとうございました。

今回は時間がなく、すべてお聞きすることができなかったので、川田委員長にぜひ機会を設けていただき、今回お聞きできなかったことを次回お聞きしたいと思います。櫻田様はロータリー歴37年ということで大変豊富な経験をお持ちです。今後は、お体に十分留意され、益々ロータリー、お仕事にご活躍されることをご祈念いたします。

本日は誠にありがとうございました。